

発見・再発見・しが

滋賀+1

プラスワン

9・10月号

県広報誌

平成25年(2013年) Vol.145

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール
おかげさまで開館15周年を迎えました

ふれあいプラスワン
近江の食文化/いじめをなくそう

琵琶湖森林づくり県民税
森林と共に育つ未来のために

淡海へのラブレター

サッカー日本代表
乾 貴士選手



人と自然と文化を育む「しが」

大津祭
(大津市) 10月12日(土)、13日(日)

長浜出世まつり
(長浜市) 10月5日(土)~ 11月9日(土)



Mother Lake

母なる湖・琵琶湖。
—あずかっているのは、滋賀県です。



サッカー日本代表
(ドイツ ブンデスリーガ
アイントラハト・フランクフルト所属)
乾 貴士選手



仲間とサッカーに打ち込んだ滋賀 今は帰るとほっとする場所

高校時代に全国優勝を果たし、その後Jリーグでも奮闘。

昨季はドイツ1部で6得点を挙げ、今後日本代表としてもさらなる活躍が期待される乾さんに、故郷滋賀についてお話を伺いました。

優勝の影に悩みもあった

7歳上の兄の姿を見てサッカーを始め、草津のチームに入って近江八幡から通っていました。それ以来サッカー中心の毎日で、当時の息抜きといえば、地元の友達と野球をするくらい(笑)。野球の強い八商(八幡商業高校)が近かったせいか、野球も好きでしたね。

野洲高2年の時に全国優勝しましたが、高1の時にはレギュラー入りができず、悔しい思いをしました。それまで試合に出られないことがなかったため、初めての挫折だったんです。そしてレギュラーになり優勝してからは、どこへ行っても優勝候補と言われ、自分たちの実力が伴わないのに注目されるのがしんどかったです

ね。ただ、そんな中でも毎日練習をコツコツ続け、徹底してドリブル強化をし、それが今につながっているのかもしれない。

当時は練習漬けだったので、部活後に仲間と駅前でたこ焼きを食べるのが楽しみでした。懐かしい思い出です。

滋賀はやっぱり落ち着ける

プロに入って横浜にいた頃は、滋賀に帰ってくるのが楽しみでした。週に1度は帰ってましたよ(笑)。プロでレベルの違いを感じて、苦しかったというのがありますし、滋賀は生まれ育った土地なので、帰ってきては地元の友達と遊んでいました。今もみんなは昔と変わらず接してくれますし、久しぶりに会う人たちも、海外で頑張っていることを

喜んでくれてうれしく思います。

滋賀で好きな場所は、琵琶湖が見える湖岸道路。星がきれいに見えるのもいいですね。琵琶湖といえば「うみのこ」(県内の小学5年生が琵琶湖の体験学習を行う学習船)も懐かしいです。そこで女の子に告白をしてふられたという、苦い(?)思い出もあります。

これから滋賀で成長する子どもたちには、サッカーでも何でも好きなことを見つけて、思いきり頑張ってほしいですね。僕もこれから始まるシーズン、全力を尽くし、よい結果を出したいと思っています。



サイン入りレプリカユニフォームとボールをそれぞれプレゼント。(P.12のほっとサロンをご覧ください)



キリンチャレンジカップ2013での乾選手。
Photo by Daiju Kitamura/AFLO SPORT

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールは

おかげさまで

開館15周年を
迎えました!



びわ湖ホールが自主制作したオペラを
のべ51演目 **約10万人** の
お客様に観ていただきました!

オペラ



歌劇「トゥーランドット」
平成21年3月14日・15日

びわ湖ホール
声楽アンサンブル



専属の声楽家集団
びわ湖ホール声楽アンサンブルは
滋賀県内の学校

のべ **336校** を訪問し **45,429人**
とふれあいました。

ラ・フォル・ジュルネ
びわ湖



平成22年から始まった
音楽祭に、4年間で、
のべ **約12万人** の方に
お越しいただきました!



びわ湖ホール
シアターメイツ顧問
にゃんばら先生
© 飯田佳奈子

15年間で
のべ **約340万人** が
びわ湖ホールに!

びわ湖ホールは、優れた舞台芸術を最高の環境で県民のみなさんに楽しんでいただくことと平成10年9月5日に開館。多くの方に愛され、おかげさまで今年15周年を迎えることができました。これまでの感謝と未来への希望を込めた記念公演も開催します。これからのびわ湖ホールにご期待ください。

※記念公演の詳細は12ページ
情報ひろばをご覧ください。

PRESENT

記念公演のチケット
をプレゼント!
詳しくは12ページ
ほっとサロンを
ご覧ください。

さらに身近で楽しめる劇場へ

オペラ、コンサート、演劇、バレエなど、さまざまな企画を高いクオリティで提供してきたびわ湖ホールには、全国の舞台芸術ファンからも熱い視線が注がれています。特にオペラやコンサートはびわ湖ホールの自主制作が多く、また「声楽アンサンブル」を擁すること、自前の制作・舞台スタッフをきちんと抱えることで、「地元密着型ホール」「創造するホール」としての姿勢を貫き、次代の人材育成の役割をも担っています。

15周年を機に、「びわ湖ホールが身近にある幸運」が、さらにみなさまの生活の中に反映されますように。たとえば朝お出掛けの前に、冷蔵庫に貼ったホールのスケジュール表をご覧になって、「今日仕事が早く終わったらこれ行ってみよう」「週末のこの催しを楽しみに今週頑張ろう」などと思っただけの方が増えたら、関係者一同にとつてこの上ない喜びです。



びわ湖ホール芸術監督
沼尻 竜典

指揮者。平成19年より現職。ドイツのリュベック歌劇場音楽総監督も務める。

お問い合わせ 公益財団法人びわ湖ホール 広報マーケティング部 TEL 077-523-7140 HP <http://www.biwako-hall.or.jp/>

もくじ Contents

- 淡海へのラブレター 乾 貴士選手(サッカー日本代表) 2
- 特集① びわ湖ホールはおかげさまで開館15周年を迎えました! 3
- 特集② ふれあいプラスワン(一人ひとりの人権を大切に)
近江の食文化そのルーツを探って 4-5
いじめをなくそう! / 人権についてのお知らせ 6-7
- 特集③ 「琵琶湖森林づくり県民税」が役立っています 8-11
- 情報ひろば / ほっとサロン 12-15
- 保存版 日頃の見守りで高齢者の消費者被害を防ぎましょう(消費生活センター)

【滋賀県の人口と世帯数】

平成25年7月1日現在(前月比)
■人口総数/1,416,051人(△337)
(外国人人口は92カ国
24,256人(平成24年12月現在))
○男性/699,129人(△285)
○女性/716,922人(△52)
■世帯数/551,880世帯(△200)



一人ひとりの 人権を大切に

同和問題啓発強調月間特集

近江の食文化

そのルーツを探って

みなさんは「近江の食文化」と聞いて何を思い浮かべますか？鮎寿司やホンモロコを使った料理など琵琶湖に関わるものを挙げる方も多いと思います。また、近江牛に代表されるように滋賀県では古くから食肉産業も盛んに行われてきました。そこで、今回の「ふれあいプラスワン」では、地元に関根付く食肉文化とその背景について田中政明さんにお話を伺いました。

近江の食肉文化

昔は牛を解体するのは御法度であり、食べる文化もなかったといわれています。ですが、実際には江戸時代から彦根藩が薬という名目で、肉の味噌漬けを將軍に献上していました。

近江は米どころだったので多くの牛を飼い、食べることが解禁されたからは、農耕で働き終えた牛が食されていました。滋賀では琵琶湖に関わる食材のほうに目が向きがちですが、今では近江牛は市場においても高く評価されています。

「ナカノモン」と呼ばれる 内臓を調理して食す

牛は「正肉」と「ゴミ皮」と呼ばれるものの2種類に分けられます。ゴミ皮は皮や足、頭、内臓で、皮は太鼓に使われます。正肉は食肉ルートに乗りますが、ゴミ皮は捨てられることも多く、「ナカノモン」と呼ばれるホルモンは、あまり食されることはありませんでした。ただし、有益な動物性タンパク質ですから、地元の人々は、捨てずにいろいろな調理の仕方ですべて食しています。

「地元の人々にとって合理的で 懐かしい料理

現在、ホルモンは「焼く」がメインですが、昔から食べている人々の間では、今でも「湯がく」「煮る」という調理が中心です。地元の人々が、売られずに残ったものを分かち合い、地域に根ざした食文化を育んできました。

たとえば「さいばし」は馬肉をスライスし、竿にぶら下げて燻しながら焼いた料理で、味つけは塩だけという非常においしいつまみです。

地元にはもつと様々な料理があります。和牛のスジ肉を煮詰めて固めた「凍り」という料理があります。これは切り干し大根を炊く際の調味料代わりにも使われます。

その他にはスジ肉を入れた「ごろお」というお粥。30年くらい前まで、法事などの振る舞いとして出され、人が集まる

場で一役買って
いました。また、
「ナカノモン」は、
婚約の披露で祝
い膳として振る
舞われたもので、
2、3日宴会が続
く時に牛一頭分
を湯がき、それを
スライスして醤油や生姜を付けて食べ
ます。時間が経ち乾いてくれば、再度湯
通しし、殺菌して食べていました。

それらを味わう人々は、食材を隅々まで使い切り、傷む前に再び湯がき、凍りを使って出汁をとるなどして、流通ルートに乗らない食材を無駄なく使って、長く食べる知恵を持っていたのです。今ではなかなか材料を手に入れることが難しくなり、そうした食文化や習慣にも陰りが見えてきました。それでも昔から常備食や祝い膳に使われたのは、いつ

京都大学国際部非常勤講師

田中 政明 さん

元滋賀県立高校教諭。
県内各地の生活文化史の
聞き取り調査を行う。





でも手に入り新鮮で安価、工夫すれば長く食べられたからで、スジやナカノモンは合理的な食材でもあったのです。

それぞれの土地の知恵が つまったものとして

一般に、自分が知らないものだと「なぜそんなものを食べるのか」と思いがちです。それは自分を物差しにしているからで、知らないものに対して「こんなものを？」と特別視してしまう。それが差別につながるということが、歴史の中でもありました。琵琶湖の近くの町には淡水魚の料理が多くあるように、それぞれの土地にそれぞれの調理法や知恵があり、食材を有効に使っているのです。それを「なんだあんなもの」という

のはおかしいと思いませんか。世界中を見ても同じこととです。捨ててはもったいないと思いつく、うまく使つて命をおいしくいただく。近江の食文化はそのような習慣の中で生まれたものとして知り、理解してほしいと思います。



田中さんの著書
「どろお 食文化・屠場のある街」

インタビューを終えて

田中さんのお話を読んでみなさんはどう感じられましたか。

田中さんが地元の方に聞き取りをされた際には、昔受けられた差別を思い出され声を詰まらせながらお話になる方もいらつしやうたそうです。

残念ながら同和問題に対する誤った認識や偏見が未だに残っています。

そのため県と市町では、県民

のみなさんが同和問題についての正しい理解と認識を深め、県民一人ひとりが部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消に向けて主体的に行動できるような、様々な取組を行っています。

今回「どろお」の写真については地元の方に料理をご提供いただきました。ありがとうございました。

料理の紹介

どろお



スジ肉を湯がいて湯を捨て、肉を一口大に切って野菜を入れ、火が通ったところで、洗っておいた小米*を入れ味つけします。“どろどろ”のお粥です。 *小米…くだけた米

赤ちゃんからお年寄りまで食べられる、バランスのとれた一品。すじ肉はコラーゲンが豊富です。命を丸ごといただき、部位に合わせて調理する技術は素晴らしいですね。

京都華頂大学教授 堀越 昌子さん
専門：食物学・食文化学

さいぼし



馬肉を繊維に沿ってスライスし、竿にぶら下げ燻製にしたもの。味つけは塩だけ。おつまみとしてそのまま、あるいは好みで生姜醤油などをつけて食べます。

馬肉は牛肉に比べて脂身が少なくヘルシー(牛肉の赤身の脂肪分は12%、馬肉は2.5%)。高タンパク低カロリー、鉄分も多く含まれています。一つの食材を多様な手法で調理する技術はアジア特有ですね。





いじめは
許さないのだ!

「いじめ」をテーマに劇を上演

生徒会執行部が「いじめ」をテーマにした劇を上演しています。上演前後には生徒会だよりを発行し、アンケート結果や出演者の感想などを載せ、いじめをなくす学校づくりの啓発を継続しています。本年度は「伝え合う力 広がる心」をキーワードに、命と心を大切に教育を推進しています。

劇を演じた生徒の声

私はこの劇を通して、「いじめ」が怖いものだとなりました。「演技」だと分かっているけど心が苦しくなる場面がありました。この劇を演じる前の私なら勇気が出なかったと思うけれど、今の私なら少し勇気を出して「いじめを止められる人」に近づけると思っています。一緒に演じた執行部の仲間はもちろん、劇を見てくれた人も「いじめを止められる人」に少しでも近づいてくれれば嬉しいです。



草津市立新堂中学校

「人権カルタ」を制作

いじめのない、誰もが心から大切にされる学校をめざして、全校児童が知恵を出し合って「人権カルタ」を制作しました。五十音の頭文字で始まる心温まる標語を、低学年から順に考えていきました。学年が上がるにつれて難しい頭文字が残りましたが、高学年の児童はユニークな発想で心のこもった標語を考えました。できたカルタは、各学年の児童3～4人ずつで構成されるたてわり班の数だけ複製し、全校たてわり遊びの時間にみんなで楽しみました。



たてわり遊びの様子

班長の中には、単に読み札を読むだけでなく、カルタの進行についても、「これは2年だけだね」とか「高学年は3m離れて」など、人権カルタらしく、札ごとにユニークな条件をつけながら、低学年に不利にならないようとても気を配っていました。



大津市立雄琴小学校

いじめをなくそう!

学校での取組

いじめをなくすためには、日頃からいじめを許さない意識づくりや学校だけでなく家庭や地域社会が力を合わせた取組が必要です。

今回は学校で行われている実際の取組を紹介し、これらの事例を参考に、家庭や地域でも何ができるのかを考え実践してみませんか。

今、県では...

いじめ問題解決の手助けをします。

いじめなどで悩んだり、困っている人はいませんか? 私たち「いじめ問題対応専門員」は、みなさんの気持ちを受け止め、みなさんの立場に立って、一緒に解決に向けて協力したいと考えています。まずは電話をしてください。直接会って相談することもできますよ。一人で悩まないで、心配しないで、相談してくださいね。

■いじめ問題対応専門員 相談電話番号

●県立学校等 TEL 077-524-7500

●小・中学校

大津・高島地域(大津市、高島市) TEL 077-522-2020

南部・甲賀地域(草津市、栗東市、守山市、野洲市、湖南市、甲賀市) TEL 077-567-5404

東近江地域(東近江市、近江八幡市、竜王町、日野町) TEL 0748-56-1050

湖東・湖北地域(彦根市、米原市、長浜市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町) TEL 0749-24-1555

平日 9:30 ~ 18:00
(年末年始は除く)

もう、一人で
悩まなくても
いいのだ!



じんけんフェスタ しが2013

テーマ：子どもと人権

大ホール

- ・手話通訳有り
- ・要約筆記有り

- 栗東市主催公演
「じんけんセミナー栗東」10:30～
子どもたちに夢と希望を伝える等身大めいぐるみ人形劇団
「劇団カッパ座」公演「森のなかまど歌おう」「はだかの王様」
- ぼくの私の大好きなこと大発表会12:30～
- 乙武さん講演(中ホールで同時中継あり)
「子どもたちのためにできること」15:00～

中ホール

- ・手話通訳有り

- 子どもによる滋賀県いじめ対策チーム会議12:45～
テーマ：「自分たちでできること～自分のために・仲間のために～」
内 容：児童・生徒委員によるパネルディスカッション

小ホール

- 紙芝居
- ジンケンダーと遊ぼう(幼児～小学校低学年対象)

アクセス 託児室 有り 下記お問合わせ先(人権施策推進課)まで
要予約・無料 締切 9/13(金)

- 電車でお越しの場合/JR琵琶湖線「栗東駅」東口より約400m(徒歩5分)
 - 車でお越しの場合/名神高速道路「栗東IC」より約3km(駐車場有(有料))
- ※駐車場に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



野外スペース

- おいしいゾーン
飲食物などの販売
- ステージ
☆AKIRA&ブチシュワ 歌とダンスのステージ
☆木下こうき ジャグリングショー
☆滋賀発アイドルユニット マリーナブルー ジンケンダーと遊ぼう
☆人権ラプソングフェスティバル出演者による歌のステージ
- 滋賀の木で家を建てよう体験(雨天時:展示室)
協力・指導:淡海里の家事業協同組合

展示室

- 体験コーナー
☆「色であそぼう」水彩イラストを描いてみよう!(40名限定)
☆「はたおり体験」ミニはたおり機で布を作ってみよう!(40名限定)
《整理券が必要です。(当日総合案内で9:30から配布。先着順)》

大切な君に
大切な自分にピース!

平成 25 年 (2013 年)

9/21 土
10:00-16:30

入場
無料

場所

栗東芸術文化会館
さくら
〒520-3031
滋賀県栗東市総二丁目1番28号

大ホール



おとたけひろただ

Special Guest 乙武洋匡

「子どもたちのために
できること」

作家・東京都教育委員。大学在学中に出版した『五体不満足』がベストセラーに。教員時代の経験をもとに書いた初の小説『だじょうぶ3組』が映画化され、自身も出演(2013年3月公開)。都内で地域との結びつきを重視する「まちの保育園」の運営に携わる。

— 人権啓発テレビ番組のご案内 —

「湖国ふれあい紀行」(全5話)

人権ゆかりの地をたずねて

- 放送時期 びわ湖放送 9月2日(月)～9月30日(月)
毎週月曜日18:10～

「教えて!! ジンケンダー」(全10話×2回)

- 放送時期 びわ湖放送 放送中～9月30日(月)
毎週 火曜日18:10～ / 日曜日8:56～(再)
毎週 金曜日22:55～ / 月曜日17:45～(再)

※滋賀県庁ホームページ「滋賀県庁発インターネットTVしが」で動画配信中。
また、滋賀県学習情報提供システム「におねっと」でDVDを貸出しています。

番組配信アドレス <http://www.pref.shiga.lg.jp/nettv/>



9月は同和問題啓発強調月間です



ふれあいのまち 差別のないまち

県および市町では、毎年9月を「同和問題啓発強調月間」と定め、様々な啓発活動に取り組んでいます。みなさんもこの機会に同和問題についての正しい理解と認識を深め、差別の解消に向けて、できることから始めてみませんか。



森林と共に育つ未来のために

「琵琶湖森林づくり県民税」が 役立っています

県の面積の約半分(20万ha)を占める森林は、
私たちの命と暮らしにとってなくてはならないものです。



日野町立日野小学校の
子どもたちが作った
「やまのご新聞」

栗東市立治田西小学校
4年生の「やまのご」
での学習の風景

森から生まれたしがの森の精
ボズー (BOZU)
原作 たなべひろし 制作 近藤 卓也

森を 育てる

環境保全を目的に、今ある森林を適切に管理し、また健康な森林づくりを行うため、調査や整備を実施。

活動内容

- ・手入れが進まない人工林の整備
- ・山林境界の明確化に対する支援
- ・動物被害の対策
- ・里山の整備 など

森と暮らしを つなぐ

森林を守り育てるとともに、森林の恵みを県民の日常に届けるための事業・活動をサポート。

活動内容

- ・間伐材の搬出対策支援
- ・森林づくりの情報発信、参加機会の提供
- ・NPO、地域の森づくり活動の支援
- ・森林環境学習の推進 など

暮らしで つかう

森林を守り、地球温暖化を防止するため、木のぬくもりや良さをPRし、木製品利用による地産地消を促進。

活動内容

- ・小中高校での木製学習機の整備
- ・住宅や公共施設でのびわ湖材の利用
- ・森林資源の利用に関する開発・研究 など



日野町立日野小学校 教諭
長谷 泰男さん



森の土と校庭の土を比べた保水実験



子どもたちが「やまのこ」学習で作ったクラフト

当校では「みなくち子どもの森」で森の中を歩き、その体験を手作りの新聞の中で発表しています。山が近い子どもたちでも森や里山を歩く経験が少なく、鳥の声の違いや木が発するポップコーンのような独特の香りなど、山に入らないとわからない様々な体験をし、感動や関心を深めてそれを表現しています。保水実験は学校で行う「水」の学習の原点でもあり、理解を深める有意義な体験にもなりました。

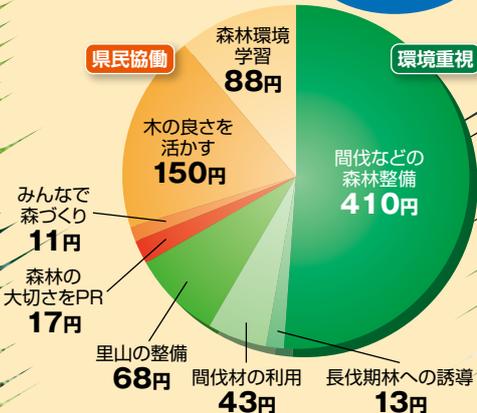
山でしかできない体験
「やまのこ」が第一歩

平成25年度
琵琶湖森林づくり県民税の
使いみち(予算)

総額 約8億5千万円

※個人/1人年額800円
法人/資本金などの金額により
年額2,200円~88,000円

一人あたり
年額800円
税の使いみち



環境重視 山や森林の環境整備に使うもの
県民協働 森林に親しんだり、県民参加の森林保全活動に使うもの



みんなで森林に関わる滋賀に

森林は美しいだけでなく、琵琶湖の水源地として、また二酸化炭素を吸収して地球温暖化防止に役立ったり、土砂の流出を防ぐなど、様々な形で私たちの暮らしを健やかに保ってくれます。また、森林から生産される木材は、家や家具などの原材料として利用されます。しかし、時代とともに県産材の利用が減少し、手入れの不足した森林が見られるようになっていきます。

そこで、大切な森林を私たちの手で未来に引き継ぐため、みなさんからいただく「琵琶湖森林づくり県民税」が、里山整備や間伐材利用のほか、森林について理解を深めるための様々な取組に用いられています。

その中で、子どもたちがもっと森林に親しめるようにと平成19年から始めたのが、県内ほぼ全ての小学4年生が参加する森林環境学習「やまのこ」です。これは、森林に入って木や草花に触れるとともに、間伐などの林業体験を通して、森林の働きや林業について学ぶ取組です。幼い頃から森林に関心を抱き、県民みんなの課題や楽しみとして森林に関わるのが、森林と私たちの未来を守ることになります。

森林と共に育つ未来のために
**「琵琶湖森林づくり県民税」が
 役立っています**



根気よく森林所有者の方と話し合いを進めます

高島市森林組合
 技師 **清原 猛史**さん



県民の方々には、まず山や木に関心をいただけたいと思います。そして、木を使うことが、森を守ることにつながっていることを知ってほしいですね。

山の守役として頑張っています。森林所有者の方と話し合い、山の手入れを進める仕事をしています。具体的には、実際に山を見て歩いてから間伐や枝打ち、間伐材の搬出等の提案をさせて頂いています。滋賀の山の約8割は私有林で、個人や集落等の所有。昨今は、所有者の世代交代などで、山の境界がわからなくなっていることも多くなりましたが、県民税事業を活用しながら、山の境界を明確にし、道をつけ、搬出間伐などを実施しています。手入れが完了してきれいになった山を見て所有者さんに喜んでいただけると、本当にやりがいを感じます。これからも地域の山の守役として、林業に携わっていききたいと思います。

山の守役として頑張っています。



しがの森林をもっと身近に！

「琵琶湖森林づくり県民税」は森林と県民の暮らしをつなぐ活動・計画に用いられています



滋賀県産材を使った木の家

祖父の代から製材業と家づくりを営んでいます。高度成長期以降、外国産材の使用が広がる中で、「近くに木があるのになぜ使わないのか」という思いが芽生え、地元への恩返しも含め、県産材を中心に建築用に製材し、使っています。木はどんな端材も何かに役立ちます。木には断熱効果や、暖かみのある色、独特の良い香りなど良い点があり、地元の木を使うことは一層山の手入れにつながります。また、このような取組を行う工務店にとって、県民税事業による木造住宅への支援は心強いものとなっています。私たちも地元の工務店として、森と共生する豊かな暮らしを提供する役割を今後も担っていきたいと思います。

滋賀の豊かな暮らしに合う県産材の家



内保製材株式会社
 (右) 社長 **川瀬 之洋**さん
 (左) 専務 **川瀬 文明**さん



木の香りがするモデルハウスでは様々なイベントが行われています

Present
暮らしに
木製品を

びわ湖材の製品プレゼント

写真提供：
一般社団法人 kikito

5名様

8 ひのきのえんぴつ&メモ帳セット

間伐材から作られたメモ帳と鉛筆。鉛筆の濃さはB、手になじむ木の軸が使いやすい鉛筆です。

応募方法はP.12の
ほっとサロンを
ご覧ください。



8 びわ湖材のバインダー
滋賀県産の木で作られたバインダー。一つひとつ異なる木目と木の香りがあたたかな風合いを生み出しています。

5名様



写真提供：ウッドワーク滋賀 堤木工所

8・9 それぞれのプレゼントに
高島のスギの木ストラップ 付
商品提供：高島森林体験学校

滋賀県森林審議会 委員を募集します

- 任期：平成25年12月1日～平成27年11月30日の2年間
- 募集人数：2人
- 応募資格：県内に居住または通勤、通学する満20歳以上の方
- 応募方法：「滋賀県森林審議会委員応募書」（所定の様式）に必要な事項を記入のうえ、「今後の滋賀県の森林・林業」についての意見、提案を1,000字程度にまとめた「意見書」（任意の様式）を添えて、郵送、FAX、Eメール、持参のいずれかで県庁森林政策課まで。
- しめきり：10月7日（月）（必着）
- お問い合わせ：下記の県庁森林政策課まで。

しがの森にふれる
チャンス!

しがの森林をもっと 知ろう 関わろう

参加費
無料

10/5 土

10:00～15:30

第8回森づくり交流会 ふれあいフェスタ2013

場所

彦根市荒神山公園（彦根市日夏町4769）
（悪天候の場合は公園敷地内にある子どもセンターアリーナで実施）

林業技術の実演や展示、販売、ステージなど、森の魅力がいっぱい。森づくり交流会は初めてという方もお気軽に参加してください。

- ステージイベント
- チェーンソーアートの実演
- 丸太ベンチづくり競技会
- 県内森づくり団体による出展

抽選で

切り株イス
プレゼント



写真は昨年の様子

しがの森
情報はこちら!

森づくりのことは「森づくりネット・しが」で!

県内各地で活動する森づくり活動団体の情報、イベントなどが検索できるサイトです。補助制度などについても解説しています。みなさんの森づくりにご活用ください。

森づくりの技術を
教えて欲しい

近くの森づくり団体は
どこにあるの

間伐をしたいけど
機材が無い

他の団体はどんな
ことをしているの

まずは「森づくりネット・しが」をご覧ください!

森づくりネット・しが

検索

<http://www.pref.shiga.lg.jp/d/rimmu/moridukurinet/>



マザーレイク滋賀応援寄附受付中!

琵琶湖の自然や歴史的文化的資産を次世代に引き継ぎ活かしていくために、滋賀ファンのみなさまからの応援(寄附)をお待ちしています。

県庁企画調整課 TEL 077-528-3313 FAX 077-528-4830 HP <http://www.pref.shiga.lg.jp/ouen/>

小・中学生、障害のある方、県内在住の65歳以上の方は、安土城考古博物館、琵琶湖博物館(常設展のみ)、近代美術館(常設展のみ)、陶芸の森、醒井養鱒場の入場は無料です。平成23年4月1日から、障害のある方は、近代美術館、琵琶湖博物館の企画展示についても入場が無料になりました。

お知らせ

屋外広告物クリーンキャンペーン

屋外に広告物を表示するときには、地域によっては手続きが必要です。滋賀県と市町は、美しい景観を守り、地域の安全を確保するため、屋外広告物の設置を規制しています。

期間中、滋賀県では県内市町と連携して、屋外広告物制度等の啓発や、条例に違反して設置されているはり紙や立看板等の撤去等を行う予定です。

●期間：9月1日(日)～10日(火)

問 県庁都市計画課

TEL 077-528-4184 FAX 077-528-4906

近江米新品種「みずかがみ」の販売スタート!

滋賀県が新たに育成した近江米新品種「みずかがみ」。炊き上がりはキラキラつややか。ほどよい粘りと、まろやかな甘みで、ごはんを食べる楽しさを実感させてくれるお米です。さめてもおいしく、お弁当やおにぎりにも最適。もちろんびわ湖をはじめとする滋賀県の豊かな自然環境に配慮して栽培されています。

近江米新品種「みずかがみ」販売開始イベント

●日時：9月7日(土) 10時～

●会場：アル・プラザ草津(草津市西渋川1丁目23-30)

●内容：「みずかがみ」のおにぎり試食、PRステージなど

問 県庁食のブランド推進課

TEL 077-528-3892 FAX 077-528-4881

おかげさまで開館15周年を迎えました!

滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール からのお知らせ

●チケット発売、託児予約：TEL 077-523-7136
チケットセンター10時～19時(休館：火曜日)

●託児料金：1,000円/1人

問 公益財団法人びわ湖ホール(大津市打出浜15-1)

びわ湖ホール開館15周年記念公演

①子ども向けオペラ『泣いた赤鬼』

童話の名作を原作にした心温まるオペラです。びわ湖ホール音楽アンサンブルが毎年地域公演で行っている大人気の作品をホームグラウンド、びわ湖ホールで上演します。

●日時：10月12日(土) 11時～・15時～ ●会場：びわ湖ホール 中ホール
※4歳未満のお子様はご入場いただけません。(有料託児サービスあり、10月5日(土)までに要予約)

②15周年記念コンサート

びわ湖ホール初代芸術監督を務めた故・若杉弘氏が自宅で愛用していたピアノを現・芸術監督の沼尻竜典自らが弾きながらオーケストラを指揮する、「弾き振り」でお披露目します。また、狂言師・野村萬斎が15周年記念の祝舞として、「MANSAI ポレロ」を西日本初のオーケストラバージョンで舞います。

●日時：10月12日(土) 13時～ ●会場：びわ湖ホール 大ホール
※6歳未満のお子様はご入場いただけません。(有料託児サービスあり、10月5日(土)までに要予約)

③オペラ・ガラ・コンサート

開館15周年を記念し、びわ湖ホールのオペラの歴史を彩った日本を代表する歌手が一堂に会して華やかなコンサートをお贈りします。

●日時：10月13日(日) 14時～ ●会場：びわ湖ホール 大ホール
※6歳未満のお子様はご入場いただけません。(有料託児サービスあり、10月5日(土)までに要予約)

●料金：①こども(4歳～小学生)500円、おとな1,000円/②S席3,000円(2,500円)、A席2,000円、青少年(25歳未満)1,000円/③S席6,000円(5,500円)、A席5,000円(4,500円)、B席4,000円、C席3,000円、青少年(25歳未満)1,500円 ※()内は友の会会員料金

ほっとサロ

「滋賀プラスワン」

9・10月号へのご意見・ご感想をお寄せいただいた方の中から抽選でプレゼントします!



乾貴士選手

①サイン入りレプリカユニフォーム(Mサイズ) **2名様**

②サイン入りボール(5号) **1名様**

2ページの「淡海へのラブレター」にご登場いただいた乾貴士選手のサイン入りレプリカユニフォームとボールをそれぞれプレゼントいたします。

びわ湖ホール公演チケット

③オペラ・ガラ・コンサートS席 **2組4名様**

④オペラ『泣いた赤鬼』15時公演の部 **3組6名様**



こども・おとなペアチケット
この秋、開館15周年を迎えるびわ湖ホールの記念公演チケットをプレゼント。



⑥あいう梨

10名様

愛東の豊かな自然に育まれたおいしい梨。酸味が少なくフルーティな香りが特徴の「あきづき梨」をお届けします。

⑧びわ湖材のバイナダー 5名様

⑨ひのきのえんぴつ&メモ帳セット 5名様 詳しくは11ページをご覧ください。

⑤近江米新品種「みずかがみ」5kg

5名様



滋賀県が新たに育成した近江米の新品種「みずかがみ」をプレゼントします。炊きあがり白く美しくつやがあり、ほどよい粘りと甘み、うまみを備えた大変美味しいお米です。ぜひ、ご賞味ください!

⑦うおーたんエコバッグ

20名様

滋賀県内でレジ袋削減の取組が進んでいます。お買い物にはエコバッグをお持ちください。



応募方法

520-8577
9月10日
滋賀県広報課
ほっとサロン係

・9・10月号の感想・希望のプレゼント番号(1つ)
・郵便番号
・住所
・氏名・年齢
・電話番号
・匿名希望の有無

はがきの場合は左記の内容を記入してください。県ホームページまたは滋賀モバイル県庁(携帯電話用ホームページ、右記二次元バーコード)の「しがネット受付」からも応募できます。

個人情報の取り扱いについては「滋賀県個人情報保護条例」に基づき、適正に行います。なお、プレゼント発送のために個人情報を商品取り扱い事業者に提供しますのであらかじめご了承ください。7・8月号のプレゼントには937通の応募をいただき、2名の方に「則本昂大選手サイン入りキャップ」、2名の方に「則本昂大選手サイン入りボール」、10名の方に「M&S乗馬クラブ 夏休み子供乗馬スクール」、2組8名の方に「休暇村近江八幡パーベキュー券」、5名の方に「竜王町産ぶどう」、20名の方に「うおーたんエコバッグ」が当たりました。当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

しめきりは9月20日(金)消印有効

お寄せいただいたご感想を「滋賀プラスワン」誌上などに紹介させていただきます。



-  車いす対応
-  車いす対応エレベーター
-  車いす対応トイレ
-  オストメイト対応トイレ
-  おむつ替えシート
-  託児
-  授乳室
-  要約筆記
-  手話通訳
-  駐車場

情報ひろば

県内の講座やイベント等を紹介するホームページ「におねっと」

 講演・講座や学びの情報満載!



募集

テクノカレッジ4月受講生募集

テクノカレッジ（滋賀県立高等技術専門校）普通課程平成26年4月生を募集します。



- **募集訓練科:** 生産システム制御科2年制（米原）、自動車整備科2年制（草津）、コンピュータ制御科1年制（草津）
 - **選考試験日:** 11月9日（土）
 - **会場:** テクノカレッジ米原（米原市岩脇 411-1）テクノカレッジ草津（草津市青地町 1093）
 - **受験資格:** 高等学校等を平成26年3月卒業見込みで、高等学校長等が推薦するもの
 - **定員:** 生産システム制御科5名程度、その他10名程度
 - **申込方法:** 高等学校長等を通じて申込
 - **申込期間:** 10月1日（火）～11月1日（金）必着
 - **受験料無料**
- 問 テクノカレッジ米原 TEL 0749-52-5300
 問 テクノカレッジ草津 TEL 077-564-3296

滋賀の“三方よし”人づくり事業の8期生募集



県では、県内企業への就職を希望する若い方々に対して、4か月間の雇用期間を通じ、県内企業のニーズに応じた人材育成を行うことにより、その後の就職につなげていく「滋賀の“三方よし”人づくり事業」を実施しています。現在、8期生を募集しています。

- **採用人数:** 50人
- **採用期間:** 平成25年11月1日～平成26年2月28日
- **給与:** 時給 1,150円
- **応募書類:** 所定の「エントリーシート」（下記申込先 HP から入手できます）
- **申込方法:** 下記まで郵送／持参
- **しめきり:** 9月26日（木）必着

問 滋賀の“三方よし”人づくり推進センター（〒525-0025 滋賀県草津市西渋川1-1-14行岡第一ビル4F）
 TEL 077-565-2700 FAX 077-565-2711
 HP <http://www.shiga-sampo.org>

みんなで作る未来への道 県政にご参加ください!

- ### ① 滋賀県基本構想審議会委員の募集
- 県政経営の総合的な指針となる基本構想の策定等について調査審議していただきます。
- **任期:** 平成25年10月下旬（予定）から3年間
 - **募集人数:** 4人以内
 - **応募資格:** 県内に居住もしくは勤務、または県内に活動の拠点を置く非営利組織に所属する満20歳以上（平成25年10月1日現在）で、任期中委員として会議に出席していただける方（国・地方公共団体の議員、常勤の公務員、県が設置している他の審議会等の委員を委嘱されている方、自ら応募されて滋賀県基本構想審議会委員であった方は応募できません。）
 - **意見書のテーマ:** 「人口減少社会において幸せや豊かさを実感できる滋賀県」または「人と自然が共生し、地域経済が発展する滋賀県」を築いていくための方策について
- 問 県庁企画調整課 TEL 077-528-3312 FAX 077-528-4830 e cu0003@pref.shiga.lg.jp
- ### ② 滋賀県高齢化対策審議会委員の募集
- **任期:** 平成25年12月1日（日）から2年間
 - **募集人数:** 3人以内
 - **職務:** 会議（滋賀県高齢化対策審議会（年2回程度開催））に出席していただき、県の高齢者福祉計画・介護保険事業支援計画であるレイカディア滋賀プランの着実な推進を図るため、幅広い視点から意見を述べていただきます。
 - **応募資格:** 県内に居住または勤務している満20歳以上（平成25年9月30日現在）で、高齢者に関する保健福祉や介護に関心のある方。（県が設置している他の審議会等の委員に就任している方は応募できません。）
 - **意見書のテーマ:** 元気で活動的な高齢者をめざす健康長寿の促進と地域全体で高齢者を支える長寿社会を構築するための意見・提案について
- 問 県庁医療福祉推進課 TEL 077-528-3520 FAX 077-528-4851 e ed00@pref.shiga.lg.jp
- ①②とも ● **応募方法:** 所定の応募書と意見書（800字程度）を郵送／FAX／Eメールで
 ● **しめきり:** 9月20日（金）必着

お知らせ

記帳・帳簿等の保存対象者の拡大

個人の白色申告者のうち前々年分あるいは前年分の事業所得、不動産所得又は山林所得の合計額が300万円を超える方に必要とされていた記帳と帳簿等の保存が、これらの所得を生ずべき業務を行う全ての方（所得税の申告の必要がない方を含みます。）について、平成26年1月から同様に必要となります。

記帳・帳簿等の保存制度や記帳の内容の詳細は、国税庁ホームページ（<http://www.nta.go.jp>）に掲載されていますので、ご覧ください。

詳しくは、最寄りの税務署にお問い合わせください。

問 県庁税政課
 TEL 077-528-3210 FAX 077-528-4819

平和祈念館の臨時休館のお知らせ

滋賀県平和祈念館は、9月4日（水）を臨時休館とさせていただきます。

問 滋賀県平和祈念館
 TEL 0749-46-0300 FAX 0749-46-0350



パスポートセンター-米原出張窓口からのお知らせ

9月17日（火）、24日（火）、10月15日（火）は県立文化産業交流会館の休館日のため、米原出張窓口はお休みです。申請には火・水・木曜日（祝日や年末年始を除く）の開所日にお越しください。

なお、大津の窓口（ピアザ淡海1階、大津市におの浜1丁目1-20）は、土、日、祝日、年末年始を除き、申請受付業務を行っています。

問 滋賀県観光交流局旅券室（滋賀県パスポートセンター）
 TEL 077-527-3323 FAX 077-527-3329

滋賀のできごとやイベント情報などをメールマガジンでお届けしています(月2回、購読無料)。旬の情報を写真や動画でお楽しみいただけるほか、読者プレゼントもご用意しています。ぜひご登録ください!



県政情報や滋賀の魅力などをタイムリーに発信しています。きれいな写真も掲載しますので、皆さまの「いいね!」をお待ちしています!

●ページ名:滋賀県 (<http://www.facebook.com/pref.shiga>)

催し・講座

滋賀県看護協会からのお知らせ

①リスタートナースサポート研修

看護職で未就業の方に地域の医療福祉を支える訪問看護ステーションに再就業していただけるよう基礎知識や技術を習得できる研修会を開催します。

●日時: 講義 / 10月21日(月)~11月1日(金) 9時30分~12時30分 講義終了後10日間の実習

●会場: 講義: 市立長浜病院 (長浜市大茂亥町313)

実習: 県内の訪問看護ステーション

●内容: ・講義 / 訪問看護ステーションで就業するうえで必要な知識および技術を学んでいただきます。

・実習 / 県内の訪問看護ステーションで10日間、実習していただきます。

●対象: 保健師・助産師・看護師・准看護師の資格を持ち、訪問看護ステーションへの再就業をめざしている方

●定員: 15名程度

●応募方法: 郵送 / FAX / 持参 (看護協会のHPに専用の申込書があります。また、看護協会に連絡いただければ、郵送します。)

●しめきり: 10月15日(火) (先着順)

●参加費無料

※実習時、看護専門職の研修補償制度(保険)に加入していただきます。



②訪問看護等就職説明会

保健師・助産師・看護師・准看護師等で未就業の方に訪問看護ステーション等への就業を支援するため、県内の施設を集め、就職説明会を開催します。

●日時: 10月5日(土) 13時~16時

●会場: 県立男女共同参画センター (近江八幡市鷹飼町80-4)

●内容: ・訪問看護と介護福祉の看護について現場で勤務する職員が説明します。
・各施設の担当者がブース毎に対応
・就業コーディネーターによる就職相談

●対象: 保健師・助産師・看護師・准看護師等で訪問看護ステーション等の在宅の医療福祉・看護を支える施設への就業を希望する方

●申込不要 ●参加費無料



問 滋賀県看護協会

(〒525-0032 草津市大馬路二丁目11番51号)

TEL 077-564-9494 FAX 077-562-8998

HP <http://www.shiga-kango.jp/>

来て!見て!試して! しが福祉用具フェア2013

福祉用具を日常生活の中に取り入れることで、暮らしをより豊かにすることを目的に開催します。

●日時: 10月26日(土) 10時~15時30分

●会場: 滋賀県福祉用具センター (県立長寿社会福祉センター内・草津市笠山7-8-138)

●内容: 様々な福祉用具を実際に見て、触れて体験することや相談が出来ます。また、介助方法や補聴器についてなどミニ講座も開催されるので、より福祉用具について学ぶことが出来ます。

●申込不要 ●参加費無料

問 滋賀県社会福祉協議会 福祉用具センター (福祉用具相談プラザ)

TEL 077-567-3907 FAX 077-567-3967



がん啓発イベント

がんの予防や早期発見、そしてがんになっても安心してくらす地域づくりについて共に考えるイベントです。

●日時: 10月27日(日) 13時~19時

●会場: 県立文化産業交流会館(米原市)ほか

●内容:

- ・がんチャリティートークショー「(仮)がんのつらさを和らげる」(アグネス・チャンさん、堀泰祐さん、嘉田由紀子知事、進行:吉川隆一さん)
- ・がん予防啓発展 (健康づくり、喫煙予防、がん検診等)
- ・がん診療情報提供ブース
- ・啓発キャラクター等入賞作品の表彰式、発表ほか

●要申込 (9月中旬以降、下記へお問い合わせください。)

●参加費無料

問 イベント実行委員会事務局(滋賀県健康づくり財団)

TEL 077-525-2733(代) FAX 077-521-0471



おうみごと体験フェスタ & おうみものづくりフェア2013

小・中学生にさまざまな職業があることを知っていただき、警察官や看護師などのお仕事体験をしていただけます。また、ものづくりも楽しんでいただけます。

●日時: 11月16日(土)、17日(日) 10時~16時(両日とも)

●会場: 県立文化産業交流会館、米原公民館(米原駅西口から徒歩5分)



●参加費無料 ●要申込

※詳しくは下記HPをご覧ください。

問 おうみごと体験フェスタ実行委員会事務局 (滋賀県職業能力開発協会)

TEL 077-533-0850 FAX 077-533-3909

HP <http://www.shiga-nokaikyo.or.jp/>



試験

平成25年度身体障害者対象職員採用試験

●日時: 10月20日(日)

●会場: 滋賀県大津合同庁舎 (大津市松本一丁目2-1)

●内容: ①平成25年度身体障害者を対象とした滋賀県職員採用試験

②平成25年度身体障害者を対象とした滋賀県市町立小・中学校事務職員採用試験

●採用予定人数: ①一般事務1人程度 ②2人程度

●対象: 介護者なしに職務遂行ができ、次のすべてに該当する方(詳しくは受験案内参照)

(1)昭和60年4月2日~

平成8年4月1日生まれ

(2)身体障害者手帳1級~4級

(3)県内居住 (4)活字印刷文による出題に対応可能

(5)介助・介護者なしに受験可能

●申込方法: 郵送 / しがネット受付サービス / 持参 (受験案内の配布は9月10日(火)から県庁および各県税事務所総務経理課等にて)

●申込期間: 9月12日(木)~10月2日(水) 消印有効

●受験料無料

問 県人事委員会事務局

TEL 077-528-4454 FAX 077-528-4970

平成25年度クリーニング師試験

●実施日: 11月26日(火)

●会場: 滋賀県大津合同庁舎 (大津市松本一丁目2-1)

●受験資格: 学校教育法第57条に規定する者(中学校卒業程度)・クリーニング業法の一部を改正する法律附則第5項の規定により学校教育法第57条に規定する者とみなされる者

●願書配布場所: 県庁生活衛生課、各県保健所、大津市保健所または県ホームページ

●受付期間: 10月7日(月)~11日(金)

●受験料: 7,800円(滋賀県収入証紙)

●願書提出先: 県内に居住または就労している方は管内の保健所へ、上記以外の方は県庁生活衛生課へ持参してください。

問 県庁生活衛生課

TEL 077-528-3641 FAX 077-528-4860



- 車いす対応
- 車いす対応エレベーター
- W.C.
- 車いす対応トイレ
- オストメイト対応トイレ
- おむつ替えシート
- 託児
- 授乳室
- 要約筆記
- 手話通訳
- 駐車場

情報ひろば

お申し込み・お問い合わせ
 電話・FAXの場合 / 各記事の番号へ
 県庁各課への郵便(はがき)の場合 / 〒520-8577(住所不要) ○○○○課あて
 「しがネット受付サービス」 / 県のホームページ、または右記二次元バーコードから



催し・講座

「装いの考古学」

●日時：10月11日(金)まで
 ●内容：遺跡から出土した装身具や化粧道具から、装いの歴史の一端をご紹介します。
 ●観覧料：大人 400(320)円、高大生 250(200)円、小中生、県内 65 歳以上、障害のある方は無料
 ※()内は 20 名以上の団体料金
 ※夏季特別展は別途料金
 問 県立安土城考古博物館
 (近江八幡市安土町下豊浦6678)
 TEL 0748-46-2424 FAX 0748-46-6140



生きものがたり-生物多様性湖国から 世界から-

●日時：11月24日(日)まで
 9時30分～17時(入館は16時30分まで)
 ●内容：生物多様性とはどのようなものか、どのように役立ち、なぜ大切なのかを湖国から、世界からの視点で紹介いたします。
 ●観覧料：大人 200円(160円)、高大生 160円(120円)、小中生 100円(80円)※()内は 20 名以上の団体料金
 ※常設展示は別料金
 問 県立琵琶湖博物館
 (草津市下物町1091)
 TEL 077-568-4811 FAX 077-568-4850



消費者講座のご案内

●日時/会場：
 ① 9月12日(木) 14時～16時
 滋賀県消費生活センター(彦根市元町 4-1)
 ② 9月27日(金) 13時30分～15時30分
 滋賀県甲賀合同庁舎(甲賀市水口町水口 6200)
 ●内容：高齢者を狙った消費者トラブルを防ぐために、地域のみなさんが取り組める「見守り」について、専門家の立場から講演いただきます。



講演テーマ：地域の見守り～地域の悪質商法被害防止をめざして～
 講師：椋山女学園大学 教授 東 珠実氏

●定員：① 60 名 ② 80 名(それぞれ先着順)
 ●申込方法：電話 / FAX / しがネット受付サービス(住所(市町名)、氏名、電話番号をご記入ください)
 ※手話通訳を必要とされる方は事前にご連絡ください。
 ●参加無料
 問 消費生活センター
 TEL 0749-27-2234 FAX 0749-23-9030



マザーズジョブステーション講座

滋賀マザーズジョブステーションでは、働きたいとお考えの女性を対象として、毎月、就職に向けての実践的な講座を開催しています。

●日時/内容：
 ① 9月19日(木) 「ビジネスマナー(言葉づかい、敬語、あいさつ、社会常識ほか)」
 ② 10月4日(金) 「ママのためのワークライフバランス～これからのキャリアデザインを考えよう～」
 ③ 10月17日(木) 「今の自分だからできる」働き方を見つけよう
 ④ 11月8日(金) 「賢い働き方を見つけよう～103万と130万の違い～」
 各日とも 10時～12時
 講師：滋賀マザーズジョブステーション キャリアカウンセラー

●定員：各日とも 15 名(先着順)
 ●申込方法：電話 (TEL 0748-36-1831 9時～17時)
 ●申込期間：
 ① 9月 5日(木)～13日(金)
 ② 9月19日(木)～27日(金)
 ③ 10月4日(金)～11日(金)
 ④ 10月17日(木)～11月1日(金)
 ※滋賀マザーズジョブステーション利用登録が必要。受講当日でも登録可能。
 問 滋賀マザーズジョブステーション(近江八幡市鷹飼町80-4)
 TEL 0748-36-1831 FAX 0748-37-5488



第1回滋賀の保育所(公・私立)就職フェア



滋賀県内の保育施設に就職を希望される方を対象に就職フェアを開催します。県内の保育所の保育内容、特色、採用情報や働く保育士の声を直接聞くことができます。

●日時：9月22日(日) 13時～16時
 ●会場：コラボしが21 3F (大津市打出浜 2-1)
 ●内容：
 ・先輩保育士からのメッセージ
 ・保育園ブースめぐり
 ●参加園：約 100 か園
 ●対象：滋賀県内の保育施設に就労を希望する学生および一般求職者
 ●申込不要
 ●参加費無料
 問 一般社団法人滋賀県保育協議会(滋賀県保育士・保育所支援センター)
 TEL 077-525-5203 FAX 077-521-2117
 HP <http://shiga-hoikukyo.jp>



保育士再就職研修会の開催



保育士資格をお持ちの方で、現在、保育士として就業していない方に、最新の保育事情を学んでいただき、保育職場への復帰を支援します。

●日時：
 10月4日(金)・11日(金)・18日(金) 各日 13時～16時
 10月25日(金) 9時30分～11時30分
 ●会場：大学サテライト・プラザ彦根(彦根市大東町1-7 平和堂アルプラザ彦根6階)
 ※10月25日(金)は彦根市内園見学
 ●内容：基本的には4回連続講座(4日目は保育園見学)ですが、いずれかの講座のみの受講も可能です。講座の詳細はHPをご覧ください。
 ●対象：保育士資格をお持ちで、県内の保育施設への就職・再就職を希望される方
 ●定員：20 名(先着順)
 ●申込方法：電話 / FAX
 ●しめきり：9月27日(金)
 問 一般社団法人滋賀県保育協議会(保育人材バンク)
 TEL 077-516-9090 FAX 077-521-2117
 HP <http://shiga-hoikukyo.jp>



県政広報誌「滋賀プラスワン」は年6回(奇数月)の発行で、9・10月号は52万部作成し、県内に新聞折込で配布しています。県のホームページでもご覧になれます。郵送を希望の方は、点字版・音声版(CD版・テープ版)のお申し込みは県庁広報課までご連絡ください。次回の発行は11月1日の予定です。



滋賀プラスワンは左記施設に配置しています
県内の市町役場、図書館、県立施設(びわ湖ホール、琵琶湖博物館等)などの公共施設、郵便局、銀行、歯科医院、美容院、理容店、大学、JR琵琶湖線や近江鉄道などの主要駅、コンビニエンスストアなど

発見・再発見・しが
滋賀 プラスワン
9・10月号 平成25年(2013年) Vol.145



この印刷物は、環境に配慮した再生紙、大豆油インキを
包含した植物油インキを使用しています。

平成25年9月1日発行 滋賀県広報課

〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号

TEL 077(528)3041

FAX 077(528)4803

Eメール koho@pref.shiga.lg.jp

県ホームページ

<http://www.pref.shiga.lg.jp/>

- この冊子の経費(企画編集、印刷、折込、職員の人件費)は、1部当たり26円です。印刷経費の一部は、本紙に掲載している企業等の広告でまかっています。



今月の表紙

黄金色に実る近江の棚田

水の豊かな近江は昔から米所として知られています。秋の田んぼでは重そうに頭を垂れた稲穂が風に揺らぎ、豊穡の恵みを祝う祭りが街を賑わします。絢爛豪華な曳山が巡行する「大津祭」、街全体で繰り広げられる「長浜出せまつり」。湖国の豊かな秋を楽しみに出かけてみませんか。